2017~2018 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

RI 会長テーマ

会　長　水野　賢一
幹　事　鈴木　信男
副会長　高木　久子

会長指針：
一人はみんなの為に

・・・　例　会　記　録　・・・

１月第４週例会　２０１８年　１月２５日（木）

ソ　ン　グ　：　奉仕の理想　　ボックス　：３１，０００円　　（報告者　休石　正基会員）

本日出席率　：　６３．４６％　前回修正後７３．０８％（ﾒｰｸｱｯﾌﾟ０名）　（報告者　鈴木　秀樹会員）

★　お客様紹介

一般社団法人　大船渡青年会議所

理事長　　船砥壮雄様　　専務理事　　猪俣博光様

財務部長　新沼　大様　　まちづくり委員会委員長　千葉　豪　様

理事長ご挨拶　：　５０代理事長の船砥です宜しくお願い致します。

本年は、５０周年記念式典を中心とした活動となりますが、感謝を忘れず気持のこもった活動をしていきたいと思っています。

現在会員数が２３名。会員資質の向上と会員拡大・大船渡へ帰ってくる若者を増やすための取り組み・活動内容の広報（現在「ねまらいん」のラジオ放送で「大船渡金 8JC」を放送中）等に力を入れて活動していきます。

★　会長の時間　水野賢一会長

今日は、48 年ぶりの寒波が来ているとの事で、やっぱりかなり寒いです。

この位の寒さはたびたび有り、この辺では決して 48 年ぶりの寒さではないとは思いますが、足元が凍結により滑りますので皆さん転倒などしない様に気を付けて下さい。

私の商売が水道屋ですので今日は朝早くから水道管の凍結修理の依頼がいっぱい来ておりますが、なかなか対応が間に合いません、皆さん水道凍結には注意しましょう、なにしろ水道屋は週に水曜日と土曜日の 2 日しか仕事をしないので水道屋と言う位なので、仕事がいっぱい溜っていてすぐには来てくれません。ちなみにもっと仕事をしないのは、金曜日の夜しか仕事をしない板金屋ですね。

家の暖房も皆さんの家は大丈夫だと思いますが、もし基礎に換気口が開いている様でしたら段ボールなどを切って換気口を塞ぐと床からの冷え込みを少しは抑える事が出来、水道の凍結防止にもなると思います。

インフルエンザも流行していますので、皆さん健康に気を付けて、この冬を元気に過ごして下さい。

◆◆◆　　幹事報告　　◆◆◆

なし

◆◆◆　　本日のプログラム　　◆◆

R 財団アワー　：ポリオ撲滅運動

★　金比呂正ロータリー財団小委員長

本日は、ロータリー財団アワーという事で、ポリオ撲滅活動の現状を理解して頂くために制作した映像を流します。

これは、弘前アップル RC の関場先生が中心となり、インドで子供たちにポリオワクチンを投与している様子が紹介されています。全世界からポリオを撲滅するためにはあと少しの年月と財源が必要です!!

この活動賛同し、バックアップの意のある方は１口 1,000 円として何口でもご寄付頂きたいと思います。

※申し込みは事務局和賀までお願いいたします。

★　上野哲ロータリー財団委員

今年度「ロータリー財団」は、金比呂正小委員長と私が担当しております。

１回目の「ロータリー財団」アワーは 9 月 7 日(木)に、金さんから次のような内容について卓話がございました。

・ロータリー財団創立の歴史

・ロータリー財団の使命

・ロータリー財団への寄付　１、年次基金寄付　２、恒久基金寄付　３、使途指定寄付

・ロータリー財団プログラム　　詳しくは、会報を再度見て頂きたいと思います。

今回は、私が担当となりました。

鈴木幹事のご配慮により最も楽な DVD という手法を取ることとなりました。

ロータリークラブ・ロータリー財団の最大の活動及び成果と言われます「ポリオプラス・プログラム」について、撲滅活動の DVD 約 25 分間をご覧いただきたいと思います。

「ロータリー財団」関係の資料は国際ロータリーのホームページに広範囲に詳細に掲載されておりますので、是非ご覧になって下さい。

当クラブの、濱守前ガバナーの活動方針の一つに 2520 地区の「ロータリー財団」への寄付について全クラブがして頂くよう寄付無し「０クラブ活動」に取り組み達成した経緯がございます。

ロータリークラブのモットーに「超我の奉仕」があります。この奉仕の活動を支えているのが、全世界全会員一同の寄付によるものだと思います。

当クラブの活動計画書の p 13 に寄付協力者が記載されております。

「世界で良いことをしよう」

『寄付』という言葉を『財団事業』への『協力金』と解釈して頂き、今年度も更なるご支援をお願いいたします。

◆ 2011/07/18 に国際ロータリー2660 地区の特別協力によりテレビ大阪で公開された特別番組 『感染症ポリオ 残り 1%の闘い』の DVD を視聴　　※2011 年現在の映像の為　現在の事柄とは相違があります。

ポリオ、正確には急性灰白髄炎（きゅうせいかいはくずいえん）と呼ばれる病。主に 5 歳以下の子どもの感染が多かったことから、日本では小児麻痺の名で知られています。発症すると急速に腕や足が麻痺し、生涯にわたって体の自由を奪う病で、最悪の場合は、命に関わることもあります。

日本では 1960 年におよそ 6，500 人が発症する大流行に見舞われましたが、その後、ワクチンの定期摂取が制度化され、1980 年を最後に自然感染はなくなりました。1988 年、WHO 総会で 2000 年を目標に「ポリオ根絶計画」が決議され、ワクチンの普及も進み、1988 年当初、125 ヵ国 30 万人を超えていた感染者数は、2001 年までに 10 ヵ国 481 人まで減少しました。　しかし今尚、ポリオに苦しむ子どもたちは存在し、その根絶に向け地道な努力を続けている人たちがいます。この番組は、2011 年 2 月に WHO がインドで行ったワクチン投与活動に参加した、ある日本人ロータリアンの姿を追ったドキュメンタリーです。

この番組をとおしてロータリーの活動・思いを皆さんにご紹介します。

以上 YouTube より

◆ 日本の現状（2011 年現在）：

野生のウイルスを根絶し、自然感染の恐れがない日本だが、実はここ１０年で１４人の子どもがポリオに感染している。原因は感染を防ぐために使われるワクチンにあった。日本で使われるワクチンは、生きたウイルスの毒性を弱めた生ワクチンと呼ばれるものだが、１００万人に２・３人ほどの確率で、ワクチンのウイルスによってポリオに感染する可能性がある。先進国でこの生ワクチンを使い続けているのは、日本だけであったが、厚生労働省はようやく海外で実績のある不活化ワクチンを２０１２年度に承認・導入することを発表した。